

2023 年 3 月 17 日

国立西洋美術館

国立西洋美術館 2023 年度 年間スケジュールのご案内

国立西洋美術館（東京都台東区上野公園 7-7、館長 田中正之）は、1959 年の開館以来、広く西洋美術全般を対象とする唯一の国立美術館として、展覧事業を中心に、様々な活動を展開してまいりました。2022 年春のリニューアルオープンから一年を迎え、2023 年度は国内外の優れた作品から成る企画展、当館の基礎である松方コレクションをはじめ所蔵作品の数々を紹介する常設展と小企画展、そして館内とオンラインで展開するプログラムを通じ、西洋美術の多様な魅力を発信してまいります。どうぞご期待ください。

企画展

■憧憬の地 ブルターニュ ―モネ、ゴッコン、黒田清輝らが見た異郷

会期：2023 年 3 月 18 日（土）～6 月 11 日（日）

会場：企画展示室

主催：国立西洋美術館、TBS、読売新聞社

ウェブサイト：<https://bretagne2023.jp/>

フランス北西部、大西洋に突き出た半島を核としたブルターニュ地方は、古来より特異な文化圏を形成していました。このフランスの内なる「異郷」は、19 世紀ロマン主義を迎えると人々の注目を集めるようになります。美術の領域でも、新たな画題をもとめる画家たちがブルターニュを目指し、以来この地は流派や国籍を問わず多様な画家たちを受け入れることになります。本展では、19 世紀後半から 20 世紀はじめに日欧作家 50 人以上によって描かれた、ブルターニュ地方を主題とする作品約 160 点を軸に、関連する資料や文学作品も交えながら、それぞれの画家たちがこの地に何を求め、見出したのかを探ります。本展にて画家たちのまなざしを借りながらブルターニュの各地をめぐり、芸術を育むその奥深い風土を体感していただければ幸いです。



■スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた

会期：2023 年 7 月 4 日（火）～9 月 3 日（日）

会場：企画展示室

主催：国立西洋美術館、朝日新聞社

フラメンコ、闘牛、ドン・キホーテ、イスラム建築…我々が思い浮かべるスペインの「イメージ」の多くは、19 世紀にこの国を訪れた旅行者たちによって作られたものでした。そうしたイメージをかたちづくり、流通させた重要な媒体が、複数刷られ簡単に持ち運びができた版画です。本展は、17 世紀からゴヤ、ピカソ、ミロ、タピエスと受け継がれるスペイン版画の史的展開、及びドラクロワやマネら 19 世紀イギリスやフランスの画家によるスペイン趣味の版画作品を中心に構成、スペインの文化や美術に関する「イメージ」がどのように作られ、伝えられていったのかを探ります。書籍や写真、ポスターなどを含む出品作は国立西洋美術館所蔵作品を核に全国約 40 箇所から借用、国内各地に所蔵されるスペイン版画の傑作を一堂に会する、史上初の機会ともなります。

（巡回先：長崎県美術館、2023 年 4 月 8 日～6 月 11 日）



ラモン・カザス《「アニス・デル・モノ」のポスター》1898 年、カラー・リトグラフ、国立西洋美術館

■パリ ポンピドゥーセンター

キュビズム展—美の革命 ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ

会期：2023 年 10 月 3 日(火)～2024 年 1 月 28 日(日)

会場：企画展示室

主催：国立西洋美術館、ポンピドゥーセンター、日本経済新聞社

20 世紀初頭、パブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックという 2 人の芸術家によって生み出されたキュビズムは、西洋美術の歴史にかつてないほど大きな変革をもたらしました。世界屈指の近現代美術コレクションを誇るパリのポンピドゥーセンター／国立近代美術館の所蔵品を中心に構成される本展では、20 世紀美術の真の出発点となり、以後の芸術動向に多大なる影響を与えたキュビズムの豊かな展開とダイナミズムを、主要作家約 40 人による約 130 点を通してご紹介します。キュビズムの本格的な展覧会は国内ではおよそ 50 年ぶりです。

（巡回先：京都市京セラ美術館 2024 年 3 月 20 日～7 月 7 日）



ロベール・ドローネー《パリ市》1910-1912 年 油彩・カンヴァス／267×406 cm／ポンピドゥーセンター（1936 年国家購入）
Centre Pompidou, Paris, Musée national d'art moderne - Centre de création industrielle
©Centre Pompidou, MNAM-CCI/Georges Meguerditchian/Dist. RMN-GP

小企画展

■橋本コレクション展—指輪よりどりみどり

会期：2023 年 3 月 18 日（土）～6 月 11 日（日）

会場：新館 版画素描展示室

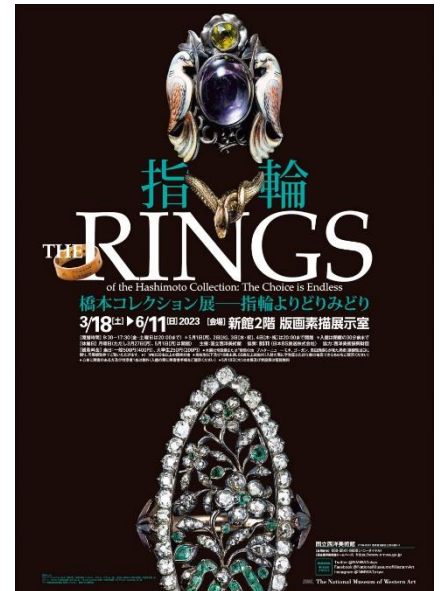
主催：国立西洋美術館

協賛：BS11（日本 BS 放送株式会社）

ウェブサイト：

<https://www.nmwa.go.jp/jp/exhibitions/2023hashimoto.html>

国立西洋美術館は約 870 点にもおよぶ指輪を主とする宝飾品を所蔵しています。これらはすべて橋本貫志氏より 2012 年に当館に寄贈され、「橋本コレクション」と呼ばれています。本コレクションの稀有な特色のひとつは、素材をはじめ時代、地域、形式、そして技法において、かたよることなく多様な点です。本展ではこの持ち味を生かすよう、種々雑多な作品を取り揃えて皆さまをお待ちします。街中でウィンドウショッピングをするかのように、展示室でぶらぶらしてください。きっとお気に入りの指輪に巡り合えるはずです。



■所蔵版画作品を中心とする小企画展（仮題）

会期：2023 年 6 月 27 日（火）～9 月 3 日（日）（予定）

会場：新館 版画素描展示室

主催：国立西洋美術館

■フランス・アカデミズムの絵画と素描（仮題）

会期：2023 年 9 月 19 日（火）～2024 年 2 月 12 日（月）（予定）

会場：新館 版画素描展示室

主催：国立西洋美術館



国立西洋美術館

The National Museum of Western Art

常設展

■コレクション・イン・フォーカス

開催期間：2023年3月18日（土）～2024年2月中旬予定

※「手でみるかたち」のみ、2023年9月までの展示予定。

会期中で一部展示の入れ替えや変更をおこないます。

会場：本館2階・新館1階

Collection

in

FOCUS

2022年春のリニューアルオープン以来、常設展の展示に少し変化を加えました。日本で唯一、西洋絵画史の流れを概観できる場としての枠組みを維持しながらも、随所に所蔵品による小規模な展示を組み込み、とりわけテーマ性の高いものを「コレクション・イン・フォーカス（Collection in FOCUS）」と名付けて、解説パネルとともに展示しています。本年度は、本館と新館で下記5つのコーナーを設ける予定です。これらを通じて、所蔵作品に関するより詳細な考察や調査研究の成果、そして作品同士の新たな対話をご堪能ください。



「絵具層の下に隠された下描きを視る」（本館2階）の展示風景

各展示タイトル（展示場所）：

※下記はすべて2023年3月18日より展示予定

- 「絵具層の下に隠された下描きを視る」（本館2階）
- 「ロイヤル・アカデミーにおける先駆者たち——カウフマンとナイト」（本館2階）
- 「手でみるかたち」（新館1階）
- 「国立西洋美術館における作品の保存修復——カリエール《自画像》を例として」（新館1階）
- 「植生へのまなざし、絵画への距離——ロヴィス・コリンの《オークの木》を結節点として」（新館1階）

■教育普及プログラム

多くの方々に美術・美術館に親しんでいただく機会を創出し、様々な対象に応じた学びを提供するため、多様なプログラムを実施しています。

【館内でのプログラム】

- 美術トーク
- 建築ツアー
- 講演会・シンポジウム
- ギャラリートーク・スライドトーク
- ワークショップ・体験プログラム



※上記に加え、子ども・ファミリーや学校、障がいをお持ちの方を対象としたプログラムも多数実施しています。各プログラムの詳細はウェブサイトでご確認ください。

一般向けプログラム：

<https://www.nmwa.go.jp/jp/experience-learn/public.html>

子ども・ファミリー向けプログラム

<https://www.nmwa.go.jp/jp/experience-learn/family.html>

学校向けプログラム

<https://www.nmwa.go.jp/jp/experience-learn/school.html>

【オンラインで公開中のプログラム】

Google Arts & Culture

- 当館研究員によるギャラリートークの動画「Curators' Talks on the Collection of NMWA, Part I」（全9点）、「Curators' Talks on the Collection of NMWA, Part II」（全9点）を日本語、英語、中国語、韓国語で紹介しています。

<https://artsandculture.google.com/partner/the-national-museum-of-western-art>

国立西洋美術館公式 YouTube チャンネル

- 国立西洋美術館コレクション紹介動画（全6本）
コレクション全体、オールドマスター、近代美術、20世紀美術、版画、橋本コレクション

ョン（指輪）をテーマに、当館所蔵作品の魅力やコレクションの歴史など、担当研究員がレクチャー形式で紹介しています。

https://youtube.com/playlist?list=PLjMPe9tntL7HgRypH4g0DmNJ1uy_Vxx1O

➤ オンライン・レクチャー『ル・コルビュジエと国立西洋美術館』（全3本）

配信終了日：2025年1月31日（金）

2020年10月以降、約1年半の休館中に行われた前庭の復原工事に加え、ル・コルビュジエの構想、増改築による変遷、世界遺産登録、日本の近代建築への影響など、様々な観点から当館の建築について、専門家のお二人にお話しいただきました。撮影時期の異なる当館の写真や図面などの資料もご覧いただけます。



<https://www.youtube.com/playlist?list=PLjMPe9tntL7H8SbCchs4GNJ23SY2scrgg>

➤ 演劇パフォーマンス〈版画で観て、舞台上で聞く『ハムレット』〉収録映像

配信終了日：未定

小企画展「版画で『観る』演劇」展（会期終了）の関連イベントとして開催した演劇パフォーマンス〈版画で観て、舞台上で聞く『ハムレット』〉の収録映像を配信しています。

脚本・演出・出演：劇団シェイクスピアシアター



<https://youtu.be/RmUksKa8-LI>

※上記内容は2023年3月現在の予定です。展覧会やプログラム名、会期などは変更になる場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

■報道関係お問い合わせ先

国立西洋美術館 広報事務局

株式会社ユース・プランニング センター内

TEL：03-6821-8229 E-mail：nmwa@yopcpr.com

（受付時間：平日 10:00～18:00 ※土日祝日・年末年始等の対応はしていません。）

下記展覧会のお問い合わせ先は各広報事務局になります。

「憧憬の地 ブルターニュ ―モネ、ゴーガン、黒田清輝らが見た異郷」

広報事務局（N&A 内）担当：鎌倉、進藤、藤村

TEL 03-6261-5784 E-mail : bretagne2023-pr@nanjo.com

〒153-0051 東京都目黒区上目黒 1-11-6

「スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた」

広報事務局（株式会社ユース・プランニング センター内）担当：大山、和泉、鈴木

TEL : 03-6821-8229 Fax : 03-6821-8869 E-mail : spain2023@ypcpr.com

〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町 9-8 KN 渋谷 3 ビル 4F

（受付時間：平日 10:00～18:00 ※土日祝日・年末年始等の対応はしていません。）

「パリ ポンピドゥーセンター

キュビズム展―美の革命 ピカソ、ブラックからドロローネー、シャガールへ」

広報事務局（株式会社 OHANA 内）担当：妹尾・細川

TEL: 03-6869-7881 FAX : 03-6869-7801 E-mail: cubisme@ohanapr.co.jp

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル 5F